

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2022年(令和4年)

12月2日

金曜日
月4回金曜日発行

関
東

「穂積のゆず」ブランド守る

富士川町・日出づる里活性化組合

ゆずポン酢・ゆず胡椒を開発



人気のゆず胡椒を手に小池組合長
(右)と大森推進委員

【山梨】甲府盆地の南西部に位置する富士川町穂積地区は、日照時間が長く北風が当たらないという条件がユズ栽培に適しており、古くから「穂積のゆず」として知られ

てきた。最盛期には100戸以上いた生産者も、高齢化や後継者不足で半数以下まで減少している。

そこで、栽培が難しくなった農業者に代わり、

管理作業などを引き受け、ゆずポン酢やゆず胡椒などの加工品開発を手がけているのが日出づる里活性化組合だ。小池太一組合長は「適地適作のユズで地域を活性化したい。加工品開発を一層進め、多くの人に穂積のゆずを手にとってもらいたい」と力強く語る。

組合員で農地利用最適化推進委員の大森昭雄さんは、毎年組合にユズを出荷し、他の組合員への技術指導もしている。大森さんは「穂積のゆずというブランドを守ってほしい。そのために全力で生産者をサポートしていく」と話す。